

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	読売理工医療福祉専門学校
設置者名	学校法人読売理工学院

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
工業専門課程	放送映像学科	夜・通信	1,394	80×2=160時間	
	TVディレクター学科	夜・通信	1,938	80×2=160時間	
	クロスメディア情報学科	夜・通信	544	80×2=160時間	
	電気電子学科	夜・通信	1,480	80×2=160時間	
	建築学科	夜・通信	540	80×2=160時間	
	建築科	夜・通信	540	45×2=90時間	
医療専門課程	臨床工学科	夜・通信	1,495	80×3=240時間	
	臨床工学専攻科	夜・通信	1,345	45×2=90時間	
社会福祉専門課程	介護福祉学科	夜・通信	1,460	80×2=160時間	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

HPにて授業科目一覧を公開。 (掲載： <a href="https://www.yomiuririkou.ac.jp/about/disclosure.html">https://www.yomiuririkou.ac.jp/about/disclosure.html</a> )
--

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

## 様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	読売理工医療福祉専門学校
設置者名	学校法人読売理工学院

### 1. 理事（役員）名簿の公表方法

HPにて理事名簿を公開している。 (掲載： <a href="https://www.yomiuririkou.ac.jp/about/disclosure.html">https://www.yomiuririkou.ac.jp/about/disclosure.html</a> )
--

### 2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	トヨタ財団顧問、元文部 科学大臣	2022.5.30 ～ 2024.5.30	教育行政に精通し た立場からの教育 目標、教育内容のチ ェックおよび提言
非常勤	読売新聞グループ本社 取締役副社長・経営管 理・ネットワーク・DX 担 当 読売新聞東京本社代表 取締役副社長	2022.5.30 ～ 2024.5.30	法人運営に係わる 指導およびガバナ ンスの点検
(備考)			

様式第2号の2-②【(2)-②外部の意見を反映することができる組織への外部人材の複数配置】

※ 様式第2号の2-①に掲げる法人以外の設置者（公益法人、医療法人、社会福祉法人、独立行政法人、個人等）は、この様式を用いること。

学校名	
設置者名	

1. 大学等の教育について外部人材の意見を反映することができる組織

名称	
役割	

2. 外部人材である構成員の一覧表

前職又は現職	任期	備考（学校と関連する経歴等）
(備考)		

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	読売理工医療福祉専門学校
設置者名	学校法人読売理工学院

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p> <p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p><b>【作成について】</b> 各授業科目について、それぞれの自己点検評価結果と教育課程編成委員会の意見等を参考に学科会議により、授業科目の設定・講義内容についての検討・検証を行い、PDCAサイクルによって教育目標・重点目標を達成するための計画を立て教科担当者に伝える。 各教科担当者が見直しを行い、授業科目名、必要時間数、担当教員名、授業の到達目標及びテーマ、講義概要、授業計画(各回の授業プラン)、成績評価方法、教科書及び参考書に関する事項等に関して学内統一様式でシラバス作成を行っている。</p> <p><b>【時期について】</b> 翌年度の講義予定(授業計画)は12月～1月に担当教員が作成し、学科長会議を経て、年度初めに翌年度分のシラバスを課程、学科別にHP上に公開する。</p>	
授業計画書の公表方法	HPにて厳格かつ適正な成績管理の実施について公開。 <a href="https://www.yomiuririkou.ac.jp/about/disclosure.html">https://www.yomiuririkou.ac.jp/about/disclosure.html</a>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p> <p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>科目履修、成績評価、進級・卒業要件について細則において規定している。 履修認定に必要な出席時数については、専門課程別に細則で規定している。</p> <p>(参考)</p> <p>細則第8条 各科目の成績は、定期試験または随時行う試験及びレポート・作品その他に基づいてそれぞれの教科担当が認定する。 細則第13条 各科目の評価は、優(100～85)、良(84～70)、可(69～60)、不可(59～)の4等級を持って表し、不可は不合格とする。 細則第15・16条 進級・卒業については、学則にある各学科の教育課程に示す基準による。かつ、当該学科の指定する科目を修得していなければならない。</p>	

<p>3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>G P A (Grade Point Average) を、学内の成績評価として使用する。G P Aは生徒の履修した1 授業科目あたりの平均成績を指す。</p> <p>このG P Aを独自奨学金、学業優秀者の表彰候補者選出などに活用する。</p> <p>学業成績は、授業科目ごとに定期試験、実技試験、提出課題等によって評価される。当校では各授業の評価を100 点満点を基準として、60 点以上を合格としている。合格者の中でも、評価点数により100~85 を優、84~70 を良、69~60 を可として、成績が通知される。各授業の成績評価を既定の数値に置き換え、1 授業あたりの平均成績を算出する。各成績を優 (3 点)、良 (2 点)、可 (1 点) のG P に置き換え、G P Aは (A の単位数×3+B の単位数×2+C の単位数×1) の合計を、各生徒が履修済みの総単位数で除した数値として求めることによって算出する。</p> <p>成績評価方法については、学則細目をH Pで公開するほか、入学時オリエンテーションで入学生徒等に通知している。</p>	
<p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p>	<p>H Pにて厳格かつ適正な成績管理の実施について公開  <a href="https://www.yomiuririkou.ac.jp/about/disclosure.html">https://www.yomiuririkou.ac.jp/about/disclosure.html</a></p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>本校には、工業専門課程に6 学科、医療専門課程2 学科、社会福祉専門課程1 学科の3 分野9 学科を設置している。</p> <p>工業専門課程は、国家資格の取得を目指すことはもとより、科学技術の推進力となる優れた人材を養成し、技術革新の時代にふさわしい、素質豊かで実力ある技術者を育成することで社会に貢献することを目的としている。</p> <p>医療専門課程は、臨床工学技士の国家試験合格に目標を置くとともに、医療技術の発展と医療の質の向上に具体的に貢献できる、人間性を重視した素養豊かな医療技術者を育成することで社会に貢献することを目的としている。</p> <p>社会福祉専門課程は、高齢者・障害者の生活を尊重し援助するために、自ら豊かな感性、的確な判断力、深い洞察力を持った介護従事者の能力開発を図り、専門職としての介護人材を育成することで社会に貢献することを目的としている。</p> <p>進級・卒業については、学則にある各学科の教育課程に示す基準による。かつ、進級・卒業について別に定める「進級判定・卒業認定基準」に基づき、当該学科の指定する科目を修得していなければならない。</p> <p>本校ではディプロマ・ポリシー (卒業認定の方針) を策定し、H Pに公表し入学時オリエンテーションで入学生徒等に通知している。</p>	
<p>卒業の認定に関する方針の公表方法</p>	<p>H Pにて卒業の認定に関する方針について公開  <a href="https://www.yomiuririkou.ac.jp/about/disclosure.html">https://www.yomiuririkou.ac.jp/about/disclosure.html</a></p>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	読売理工医療福祉専門学校
設置者名	学校法人読売理工学院

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	<a href="https://www.yomiuririkou.ac.jp/about/disclosure.html">https://www.yomiuririkou.ac.jp/about/disclosure.html</a>
収支計算書又は損益計算書	<a href="https://www.yomiuririkou.ac.jp/about/disclosure.html">https://www.yomiuririkou.ac.jp/about/disclosure.html</a>
財産目録	<a href="https://www.yomiuririkou.ac.jp/about/disclosure.html">https://www.yomiuririkou.ac.jp/about/disclosure.html</a>
事業報告書	<a href="https://www.yomiuririkou.ac.jp/about/disclosure.html">https://www.yomiuririkou.ac.jp/about/disclosure.html</a>
監事による監査報告（書）	<a href="https://www.yomiuririkou.ac.jp/about/disclosure.html">https://www.yomiuririkou.ac.jp/about/disclosure.html</a>

## 2. 教育活動に係る情報

### ①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		工業専門課程	放送映像学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1700 単位時間	782 単位時間	306 単位時間	1224 単位時間		
			2312 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
160人		132人	0人	6人	18人	24人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照のこと
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照のこと
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照のこと
学修支援等
（概要） 講義においては、中間及び期末試験前に授業の振返りを実施し、学生の理解度を高めるとともに、授業中における小テストの実施や課題の提出で理解度の把握に努め、学生らの知識の均衡化及び底上げを図る。 実習においては、少人数グループに分けるとともに、複数の教員が授業を受け持ちきめ細かい指導を行うほか、報告書提出時は個別に対応することで学生らの理解度の把握に努める。 そのほかにも随時、担任教員による相談の受付や面談、進路指導、学外教育活動の紹介プログラム等を紹介設定し、向上心のある学生に対しては積極的に修学を支援し更なる成長を促す。 また一般教養等基礎学力に関しては、共通講座を設け指導を行っている。



卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
69人 (100%)	0人 (0%)	67人 (97.10%)	2人 (2.89%)
（主な就職、業界等） テレビ放送業界を中心として、その関連企業へ就職 株式会社日放、株式会社ファーストショット、株式会社テレフィット 等			
（就職指導内容） 企業説明会の実施及び個別面談、模擬面接、キャリアカウンセラーの個別指導 等			
（主な学修成果（資格・検定等）） 一般社団法人日本ポストプロダクション協会 映像音響処理技術者資格認定			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
128人	8人	6.25%
（中途退学の主な理由） 進路変更、健康上の理由、経済的問題、学校生活への不適合 等		
（中退防止・中退者支援のための取組） 個別面談・保護者との連絡、特別補講等を基本的な対応とし、健康上の理由や学校生活への不適應等の踏み込んだ課題においては、医療機関の紹介、保護者面談やスクールカウンセラーの紹介等で対応を行っている。 案件によっては、教育指導方法に対し適切な対応を行うため、教員が事前にスクールカウンセラーへ報告連絡相談し、指導に関して専門家の意見を取り入れている。 経済的な問題に関しては、奨学金等の利活用を保護者へ促すほか、授業料の延納及び分納対応を行っている。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		工業専門課程	TVディレクター学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1700 単位時間	306 単位時間	578 単位時間	1462 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			2346 単位時間				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
80人	46人	0人	4人	23人	27人		

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
(概要) 講義においては試験前には授業の振り返りを実施し、学生の理解度等を高めるとともに、授業中に小テストや課題提出で理解度の把握に努める。実習においては少人数グループに分け、複数の教員が担当しきめ細かい指導を行う。更に、報告書提出時は個別に対応することで理解度の把握に努める。 随時、担任教員による相談受付や面談、進路指導、学外教育活動の紹介プログラム等を設定し、意欲ある学生の積極的な学修を支援している。 また、基礎学力に関しては共通講座を設け指導を行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
37人 (100%)	0人 (%)	37人 (100%)	0人 (%)
<p>（主な就職、業界等）            テレビ放送業界を中心に、番組制作関連企業への就職            株式会社 TBS スパークル、株式会社創輝、株式会社 極東テレビ台、株式会社 ザ・ワークス他</p>			
<p>（就職指導内容）            企業説明会開催、個別面談・就職指導、模擬面接、キャリアカウンセラーの個別指導等</p>			
<p>（主な学修成果（資格・検定等））            なし</p>			
<p>（備考）（任意記載事項）            少数定員である学科の利点から、特に就職指導に力を入れており、多くが日テレの人気番組を制作する大手制作会社に入社している。</p>			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
64人	5人	7.8%
<p>（中途退学の主な理由）            進路変更、健康上の理由、経済的問題、学校生活への不適合等</p>		
<p>（中退防止・中退者支援のための取組）            個別面談・保護者との連絡、特別補講等を基本的な対応とし、健康上の理由や学校生活への不適合等の踏み込んだ課題には、医療機関の紹介、保護者面談やスクールカウンセラーの紹介等で対応している。案件によっては、教育指導方法や適切な対応を行うため、教員が事前にスクールカウンセラーと面会し、指導に関して助言等を受けている。経済的な問題に関しては奨学金等活用や授業料の延納分納対応をしている。</p>		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		工業専門課程	クロスメディア情報学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1700 単位時間	816	986	816		
			単位時間	単位時間	単位時間	単位時間	単位時間
			2618 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80人		58人	24人	3人	8人	11人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
（概要） 講義においては中間および期末試験前には授業の振り返りを実施し、学生の理解度等を高めるとともに、授業中に小テストや課題提出で理解度の把握に努める。実習・実験においては少人数グループに分け、複数の教員が担当しきめ細かい指導を行う。更に、報告書提出時は個別に対応することで理解度の把握に努める。 随時、担任教員による相談受付や面談、進路指導、学外教育活動の紹介プログラム等を設定し、意欲ある学生の積極的な学修を支援している。 また、基礎学力に関しては共通講座を設け指導を行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
27人 (100%)	0人 (--%)	18人 (66.7%)	9人 (33.3%)
<p>（主な就職、業界等）</p> <p>I T企業中心にシステム開発・運用がメイン。留学生の中には特定技能ビザによる就職もいる。</p> <p>株式会社読売プラス、株式会社コアード、株式会社ハイデックス、エステールホールディングス（株）など</p>			
<p>（就職指導内容）</p> <p>社会人基礎力講座による全体指導に加え、個別面談・指導、模擬面接をおこなう。希望者にはキャリアカウンセラーによる個別相談もおこなう。</p>			
<p>（主な学修成果（資格・検定等））</p> <p>ITパスポート試験、基本情報処理技術者試験、サーティファイ Webクリエイター能力認定試験 等</p>			
<p>（備考）（任意記載事項）</p>			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
67人	8人	12%
<p>（中途退学の主な理由）</p> <p>国際情勢・コロナ関係、経済的問題、健康上の問題、覚醒生活への不適合。</p>		
<p>（中退防止・中退者支援のための取組）</p> <p>個別面談・保護者との連絡、特別補講等を基本的な対応とし、健康上の理由や学校生活への不適合等の踏み込んだ課題には、医療機関の紹介、保護者面談やスクールカウンセラーの紹介等で対応している。案件によっては、教育指導方法や適切な対応を行うため、教員が事前にスクールカウンセラーと面会し、指導に関して助言等を受け</p>		

ている。経済的な問題に関しては奨学金等活用や授業料の延納分納対応をしている。

コロナ関連でやむを得ず帰国となった学生や、母国情勢が不安定なため、就業を優先させたケースなどもあったが、連絡相談を受け慎重に対応をおこなっている。

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		工業専門課程	電気電子学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1,720 単位時間	1,600 単位時間	120 単位時間	720 単位時間		
			2,440 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80人		50人	13人	3人	9人	12人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
(概要) 講義においては中間および期末試験前には授業の振返りを実施し、学生の理解度等を高めるとともに、授業中に小テストや課題提出で理解度の把握に努める。実習・実験においては少人数グループに分け、複数の教員が担当しきめ細かい指導を行う。更に、報告書提出時は個別に対応することで理解度の把握に努める。 随時、担任教員による相談受付や面談、進路指導、学外教育活動の紹介プログラム等を設定し、意欲ある学生の積極的な学修を支援している。 また、基礎学力に関しては共通講座を設け指導を行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
32人 (100%)	1人 (3.4%)	30人 (93.2)	1人 (3.4%)

(主な就職、業界等)
(一財)関東電気保安協会、太平ビルサービス(株)、パナソニックファシリティーズ(株)、相鉄企業(株)、西山電気(株)、東日本電気エンジニアリング、光村印刷(株)、東京都済生会

中央病院等、建物施設や設備の管理業、電気工事等の建設業、自社施設管理部門等に就職
(就職指導内容) 企業説明会開催、個別面談・就職指導、模擬面接、キャリアカウンセラーの個別指導等
(主な学修成果(資格・検定等)) 電気主任技術者認定、第一種電気工事士試験合格、第二種電気工事士養成施設修了、DD 第一種工事担任者試験合格、工事担任者全資格試験基礎科目免除、電気工事施工管理技術検定学科試験合格、電気通信工事施工管理技術検定学科試験合格
(備考) (任意記載事項) 電気事業法に基づく主任技術者の資格等に関する省令第1条第1項に規定する教育施設認定条件である経済産業省告示第71号の他、工事担任者規則第11条に基づく電気通信技術の基礎科目免除校認定条件である総務省告示第230号に適合した授業を、実務者の観点から行うことで具体的なイメージを持たせ、就職指導へとつなげている。

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
62 人	1 人	1.6%
(中途退学の主な理由) 日本語学校・本校在学の何れもオーバーワークの可能性があるので本人に説諭し自主退学で帰国となった		
(中退防止・中退者支援のための取組) 今年度は1名だったが、経済的な理由も関係することが考えられる。学費の分納や延納などを活用し対応して行きたい。		



分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		工業専門課程	建築学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1,800 単位時間	1476 単位時間	180 単位時間	900 単位時間	単位時間	単位時間
			2,556 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80人		58人	21人	5人	24人	29人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1. を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3. を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4. を参照
学修支援等
(概要) 講義においては中間および期末試験前には授業の振返りを実施し、学生の理解度等を高めるとともに、授業中に小テストや課題提出で理解度の把握に努める。実習・実験においては少人数グループに分け、複数の教員が担当しきめ細かい指導を行う。更に、報告書提出時は個別に対応することで理解度の把握に努める。 随時、担任教員による相談受付や面談、進路指導、学外教育活動の紹介プログラム等を設定し、意欲ある学生の積極的な学修を支援している。 また、基礎学力に関しては共通講座を設け指導を行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
38人 (100%)	4人 (10.5%)	29人 (76.3%)	5人 (13.2%)
<p>（主な就職、業界等）            建設業界の建築系企業、特に建築設計・施工関連企業への就職            河端建設株式会社、よみうりサポートアンドサービス、読売不動産、他</p>			
<p>（就職指導内容）            企業説明会開催、個別面談・就職指導、模擬面接、キャリアカウンセラーの個別指導等</p>			
<p>（主な学修成果（資格・検定等））            二級建築士（卒業後受験資格）、二級建築施工管理技士補、インテリアコーディネーター など</p>			
<p>（備考）（任意記載事項）</p>			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
82人	8人	9.75%
<p>（中途退学の主な理由）            進路変更、健康上の理由、経済的問題、学習意欲の低下等</p>		
<p>（中退防止・中退者支援のための取組）            個別面談・保護者との連絡、特別補講等を基本的な対応とし、健康上の理由や学校生活への不適応等の踏み込んだ課題には、医療機関の紹介、保護者面談やスクールカウンセラーの紹介等で対応している。案件によっては、教育指導方法や適切な対応を行うため、教員が事前にスクールカウンセラーと面会し、指導に関して助言等を受けている。経済的な問題に関しては奨学金等活用や授業料の延納分納対応をしている。</p>		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		工業専門課程	建築科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	夜	1,764 単位時間	1098 単位時間	108 単位時間	864 単位時間	0 単位時間	
			2070 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80人		67人	0人	5人	24人	29人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
(概要) 講義においては中間および期末試験前には授業の振返りを実施し、学生の理解度等を高めるとともに、授業中に小テストや課題提出で理解度の把握に努める。実習・実験においては少人数グループに分け、複数の教員が担当しきめ細かい指導を行う。更に、報告書提出時は個別に対応することで理解度の把握に努める。 随時、担任教員による相談受付や面談、進路指導、学外教育活動の紹介プログラム等を設定し、意欲ある学生の積極的な学修を支援している。 また、基礎学力に関しては共通講座を設け指導を行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
29人 (100%)	0人 (0%)	2人 (6.2%)	27人 (93.8%)
（主な就職、業界等） 建設業界の建築系企業への就職 サンシャインシティ、総合資格学院 他			
（就職指導内容） 企業説明会開催、個別面談・就職指導、模擬面接、キャリアカウンセラーの個別指導等			
（主な学修成果（資格・検定等）） 二級建築士（卒業後受験資格）、二級建築施工管理技士（学科のみ）、インテリアコーディネーター など			
（備考）（任意記載事項） 夜間部のため有職者、学生が多く、就職者数以外、全員就職、進学している。			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
70人	10人	14.2%
（中途退学の主な理由） 転勤等業務上の理由、健康上の理由等		
（中退防止・中退者支援のための取組） 個別面談・保護者との連絡、特別補講等を基本的な対応とし、健康上の理由や学校生活への不適応等の踏み込んだ課題には、医療機関の紹介、保護者面談やスクールカウンセラーの紹介等で対応している。案件によっては、教育指導方法や適切な対応を行うため、教員が事前にスクールカウンセラーと面会し、指導に関して助言等を受けている。経済的な問題に関しては奨学金等活用や授業料の延納分納対応をしている。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		医療専門課程	臨床工学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	2570 単位時間	1940 単位時間	60 単位時間	570 単位時間	単位時間	単位時間
			2570 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
120人		88人	0人	6人	28人	34人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
（概要） 講義においては中間および期末試験前には授業の振返りを実施し、学生の理解度等を高めるとともに、授業中に小テストや課題提出で理解度の把握に努める。実習においては少人数グループに分け、複数の教員が担当しきめ細かい指導を行う。更に、報告書提出時は個別に対応することで理解度の把握に努める。 随時、担任教員による相談受付や面談、進路指導、学外教育活動の紹介プログラム等を設定し、意欲ある学生の積極的な学修を支援している。 また、TAを置き理解度を高める。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
20人 (100%)	0人 (0%)	14人 (70%)	6人 (30%)
<p>（主な就職、業界等）            日本鋼管病院、西新井病院、幸有会記念病院、明理会中央総合病院、            国際医療福祉大学熱海病院、葛飾ハートセンター、豊島中央病院、宇治徳洲会病院            三楽病院、みつわ台総合病院、大雄山セントラルクリニック 他</p>			
<p>（就職指導内容）            企業説明会開催、個別面談・就職指導、模擬面接、キャリアカウンセラーの個別指導            等</p>			
<p>（主な学修成果（資格・検定等））            臨床工学技士国家試験、第2種ME技術実力検定試験、第1種ME技術実力検定試験</p>			
<p>（備考）（任意記載事項）            国家試験の実施時期が年度末となり、就職活動中のまま卒業した生徒には就職指導            を継続している。</p>			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
85人	10人	11.8%
<p>（中途退学の主な理由）            経済的な理由、健康上の理由、学校生活への不適合等</p>		
<p>（中退防止・中退者支援のための取組）            個別面談・保護者との連絡、特別補講等を基本的な対応とし、健康上の理由や学校            生活への不適合等の踏み込んだ課題には、医療機関の紹介、保護者面談やスクールカ            ウンセラーの紹介等で対応している。案件によっては、教育指導方法や適切な対応を            行うため、教員が事前にスクールカウンセラーと面会し、指導に関して助言等を受け            ている。経済的な問題に関しては奨学金等活用や授業料の延納分納対応をしている。</p>		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		医療専門課程	臨床工学専攻科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	夜	2015 単位時間	1535 単位時間	単位時間	480 単位時間	単位時間	単位時間
			2015 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
60人		22人	0人	5人	28人	33人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
(概要) 講義においては中間および期末試験前には授業の振返りを実施し、学生の理解度等を高めるとともに、授業中に小テストや課題提出で理解度の把握に努める。実習においては少人数グループに分け、複数の教員が担当しきめ細かい指導を行う。更に、報告書提出時は個別に対応することで理解度の把握に努める。 随時、担任教員による相談受付や面談、進路指導、学外教育活動の紹介プログラム等を設定し、意欲ある学生の積極的な学修を支援している。 また、TAを置き理解度を高める。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
9人 (100%)	0人 (0%)	9人 (100%)	0人 (0%)
（主な就職、業界等） 医療機関、医療機器企業への就職 秀和総合病院、湘南藤沢徳洲会病院、東葛病院、松本協立病院、埼玉セントラル病院 東葛病院 他			
（就職指導内容） 企業説明会開催、個別面談・就職指導、模擬面接、キャリアカウンセラーの個別指導等			
（主な学修成果（資格・検定等））臨床工学技士国家試験、第2種ME技術実力検定試験、第1種ME技術実力検定試験			
（備考）（任意記載事項） 入学には、一定の条件がある。 夜間部のため有職者もいるが、卒業後も継続勤務となることが多い。			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
31人	7人	22.6%
（中途退学の主な理由） 経済的な理由、進路変更、学習意欲の低下等		
（中退防止・中退者支援のための取組） 個別面談・保護者との連絡、特別補講等を基本的な対応とし、健康上の理由や学校生活への不適應等の踏み込んだ課題には、医療機関の紹介、保護者面談やスクールカウンセラーの紹介等で対応している。案件によっては、教育指導方法や適切な対応を行うため、教員が事前にスクールカウンセラーと面会し、指導に関して助言等を受けている。経済的な問題に関しては奨学金等活用や授業料の延納分納対応をしている。		



分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
社会福祉		社会福祉 専門課程	介護福祉学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	2060 単位時間	1060 単位時間	490 単位時間	600 単位時間		
			2150 単位時間				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
80人	67人	9人	3人	12人	15人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
（概要） 講義においては授業の振り返りや小テストを実施し、学生の学習の達成度等を高めるとともに、課題提出で理解度の把握に努め、学習成果が感じられるようにしている。演習においては少人数グループに分け、複数の教員が担当しきめ細かい指導を行っている。実習の準備に関する書類は、実習担当教員が個別に添削・助言することで、実習前後を通じた実践力が身につくように努めている。コロナ禍においては、オンライン授業や分散授業を取り入れ、安心して学習に取り組めるようにしている。実習は必要に応じて学内で実施するなど柔軟な対応をしており、単位取得に影響がないように配慮している。 担任を中心に相談受付や面談、進路指導や生活指導を随時実施し、学校生活全般の支援をしている。2年次には、試験勉強を習慣化できるように、学習帳の作成や添削指導を実施している。 また、基礎学力に関しては共通講座を設け、留学生には日本語授業を設けて指導を行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
35 人 (100%)	1 人 (2.85%)	33 人 ( 94.3%)	1 人 ( 2.85%)
<p>（主な就職、業界等） 介護福祉分野で内定している。特別養護老人ホーム・介護老人保健施設、障害者施設、認知症対応型共同生活介護、有料老人ホーム、居宅サービス事業所等に就職。</p>			
<p>（就職指導内容） 外部講師による就職説明会、就職フェア開催、個別面談・就職指導、模擬面接、キャリアカウンセラーの個別指導等</p>			
<p>（主な学修成果（資格・検定等）） 介護福祉士国家資格、介護事務管理士、住環境コーディネーター2級</p>			
<p>（備考）（任意記載事項） 2026年度末までの卒業生は、卒業後5年間、介護福祉士になることができる。この間に以下のいずれかを満たせば、5年経過後も介護福祉士の登録を継続することができる。 (a) 卒業後5年以内に国家試験に合格 (b) 卒業後5年間続けて介護等の業務に従事</p>			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
70 人	3 人	4.2%
<p>（中途退学の主な理由） 健康上の理由、成績不良、留学生の無断帰国</p>		
<p>（中退防止・中退者支援のための取組） 学生個々の状況に応じた学習指導及び生活指導、教員間での情報共有、個別面談・保護者との連絡、特別補講等を基本的な対応とし、健康上の理由やパーソナリティに関わる課題には、医療機関の紹介、保護者面談やスクールカウンセラーの紹介等一歩踏み込んで対応している。案件によっては、教育指導方法や適切な対応を行うため、教員が事前にスクールカウンセラーと面会し、指導に関して助言等を受けている。</p>		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
放送映像 学科 (2年制)	200,000 円	600,000 円	520,000 円	
TVディ レクター 学科 (2年制)	200,000 円	600,000 円	520,000 円	
クロスメ ディア情 報学科 (2年制)	200,000 円	510,000 円	490,000 円	
電気電子 学科 (2年制)	200,000 円	490,000 円	490,000 円	
建築学科 (2年制)	200,000 円	510,000 円	490,000 円	
建築科 (2年制)	100,000 円	250,000 円	160,000 円	
臨床工学 科 (3年制)	230,000 円	600,000 円	670,000 円	
臨床工学 専攻科 (2年制)	140,000 円	400,000 円	470,000 円	
介護福祉 学科 (2年制)	180,000 円	590,000 円	380,000 円	
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 前年度評価について、学校HP公開している <a href="https://www.yomiuririkou.ac.jp/about/disclosure.html">https://www.yomiuririkou.ac.jp/about/disclosure.html</a>
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) 学校関係者として、関係企業、卒業生、保護者、地域からの選出した委員で学校関係者 評価委員会を組織。年2回以上開催し、それぞれの知見を活かした教育内容・学校運 営等について評価を行っている。 評価内容は、学科長会議をはじめ各学科・部署に伝達し、次年度以降の改善に取り組 んでいる。

学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
卒業生組織 会長	令和4年4月1日～ 令和5年3月31日	卒業生委員
保護者	令和4年4月1日～ 令和5年3月31日	保護者委員
地域自治会 会長	令和4年4月1日～ 令和5年3月31日	地域委員
情報通信会社 特別顧問	令和4年4月1日～ 令和5年3月31日	企業委員
建設会社 社員	令和4年4月1日～ 令和5年3月31日	企業委員
電気設備工事会社 役員	令和4年4月1日～ 令和5年3月31日	企業委員
病院 職員	令和4年4月1日～ 令和5年3月31日	企業委員
特別養護老人ホーム 職員	令和4年4月1日～ 令和5年3月31日	企業委員
建築物衛生管理教育機関 職員	令和4年4月1日～ 令和5年3月31日	企業委員
学校関係者評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 前年度評価について、学校HP公開している <a href="https://www.yomiuririkou.ac.jp/about/disclosure.html">https://www.yomiuririkou.ac.jp/about/disclosure.html</a>		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) <a href="https://www.yomiuririkou.ac.jp/">https://www.yomiuririkou.ac.jp/</a>
--

(別紙)

※この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「－」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校名	読売理工医療福祉専門学校
設置者名	学校法人読売理工学院

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		54人	53人	59人
内 訳	第Ⅰ区分	27人	24人	
	第Ⅱ区分	15人	19人	
	第Ⅲ区分	12人	－人	
家計急変による支援対象者（年間）				0人
合計（年間）				59人
(備考)				

※本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等		
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	0人	0人	0人
修得単位数が標準単位数の5割以下 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が標準時間数の5割以下)	0人	0人	0人
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況	0人	0人	0人
「警告」の区分に連続して該当	0人	0人	0人
計	0人	0人	0人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
年間	0人	前半期	0人	後半期	0人
(備考)					

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの に限り、認定専攻科を含む。）、 高等専門学校（認定専攻科を含 む。）及び専門学校（修業年限が 2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数 の6割以下 (単位制によらない専門学校に あつては、履修科目の単位時間 数が標準時間数の6割以下)	0人	0人	0人
GPA等が下位4分の1	—人	0人	12人
出席率が8割以下その他 学修意欲が低い状況	0人	—人	—人
計	—人	—人	14人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。